

オープンカレッジ通信

No.4 2021.6.24

「夏の大人の野遊び入門」 幼児・児童教育学科教授 田中 一徳
第2回目 6月14日 「トレンチジェット型アルコールストーブ」を作りました。



みんな真剣です。20分ほどで完成しました。

さっそく外に出て、お湯を沸かしてみました。「誰の水が一番先に沸騰するのか」全員がドキドキしながら見守りました。残念なことに、沸騰したのは真ん中の一つだけでした。

沸いたお湯で淹れた、コーヒーを飲みながら、反省会。作り方は簡単に思いましたが、上手に炎を出すにはコツが要るようです。また、今回は周りが明るかったのですが、アルコールの青白い炎を目で確認することは難しく、それぞれの炎の様子を見比べることはできませんでした。

「講座で使用した材料を買って帰り、家でもやってみます。」「暗いところで炎の様子を確認してみます。」と受講生。次回の講座では、どんな報告があるのでしょうか。



- ① 缶の上部の溝に沿って、上蓋をカッターで切り取り、ガムテープを台にして真横にカッターを入れ、水平に切断。
- ② 上部のアルミ缶にラジオペンチで縦に16本の折り目をつけ、上から1cmくらいの所に、きりで4カ所均等な位置に穴を開ける。下部のアルミ缶の中に折り目を付けたアルミ缶を入れて、完成。

トレンチジェット型アルコールストーブ作りのポイント



上部のアルミ缶の折り目(副室)を薄く等間隔にすることで、アルコール燃料が均等に気化し、燃焼が安定し高温の青い炎となります。アルコール燃料を効率よく吸い上げるためには、上部のパーツの折り目(副室)の下の方をハサミ等で数ミリ切込みを入れ内側に折り曲げ、下部のパーツの底に密着すると良いです。